

等。

4月、役員改選組合長（第13代）谷邑吉太郎就任。副組合長 池田又三郎、会計 中西菊次郎留任。雇傭契約証書を組合員へ発行。理容料金50銭。（A B級今までの最高料金）フランスのヘヤースタイル（オリエンタル・カット、ピース・カット）とアメリカのハリウッド、スタイル5種型）流行す。大正天皇崩御、今上天皇即位。京都市人口約70万となる。（698,400人）

昭和2年（1927）

理髪組合「毎月2回、公休日制の提唱」者である西陣支部の茨木伝四郎教育部長が8日と23日を定休日と決め実施す。

3月、帝理学校第3回卒業生。（高橋春雄等19名）

11月、竹原富三教師が京都府理髪試験委員となる。フランスのG、マツセル式アイロニング始る。5月頃アメリカ製電気バリカン（エレクトリック、ヘヤクリッパー）ムーアエンド・リチャード会社製品ラセンモーター式が輸入される。金融恐慌起る、デフレーション時代（生産過大消費不足物価安の不景気）となる。北丹大震災。

昭和3年（1928）

3月、副組合長 池田又三郎退任し長谷川市蔵（三軒床）が副組合長となる。7月には中西菊次郎会計が島田喜一郎（堀川支部長）と替る。

五月、帝国理容学会創設第1回集会。会長 山形常太郎（中立売支部長）役員代表 柴田富三郎、斎藤克巳、高橋安次郎その他5名（会場 府庁前京理組合帝国理髪学校）

10月、竹原富三帝理学校正教員となる。

11月、京理組合主催 大正記念及び川亀太郎宮内省調髪師（東京）歓迎模範競技大会開催、各支部代表参加。（会場 京都商業会議所ホール）理容料金50銭。ドイツ国ハーフエクス製、電気ヘアクリッパー輸入、国産電気クリッパー福地式のテストを理髪学校にて行う。ヘア・アイロン研究会始る。（帝国理容学会、帝国理髪学校）イギリスのヘア・スタイルのマンチェスターカット型世界的流行となる。天皇即位大礼式、新京阪鉄道開通。

昭和4年（1929）

1月、全議員会において鈴木吉之助（京都市東山馬町出身、代議士、府市議員、京都土地興業専務）を組合長（第14代）に招請、副組合長に7度目の内山岬を押し、会計に山田卯三郎が就任し、協力実行委員として村瀬清之助他4名を決定した。以上の強力スタッフの構成にて次の事項の推進を計る。

(1)組合及び学校の規約改正 (2)組合と学校の新築移転 (3)組合財政経理の件。

学校設立者を組合長 鈴木吉之助に変更するの件認可さる。

3月、学校は京都理髪学校（竹原富三校長）と改名京都府指定となり、無試験営業免許制（京都府達第235号）となる。

10月、組合と学校の 新建築始る。宮内省より 御所内大礼建造物（玄関東寄）下賜される。新建設地京都市中京区丸太町御前通西入下ル 両町6番地。京都市改正分区が定り上、下、中、左、東山の5区制となる。理容料金不安定35銭～40銭～50銭。

昭和5年（1930）

1月、京理組合及び学校新築竣工移転（第5次現在地）所在地 中京区西之京両町6ノ6

4月、京都理髪青年団本部第1回集会。本部団長 細見金八、各支部団長 鵜飼竜之助 山本繁次、炭谷興三等。

5月、竹原富三を京都理髪学校々長に定むるの件認可さる。京都理髪新聞に理容講座を設け製造化学等の記載。責任担当 高橋春雄（京理学校講師帝国理容学会教育部長）編集補佐 山島泰三。

12月、児玉林三郎京理学校主任教員退職。デフレーション景気が続き失業者増大す。京都市人口765,142人。

昭和6年（1931）

3月、京都理髪学校本科第1回専科第2回卒業（竹原富三校長）本科生19名、専科生11名。

4月、帝国理容学会（会長 山形常太郎）は高等専門研究科として京都フェイスエクスパート会（京都F E会）と改称して再発足。4月8日、京都F E会第1回総会開催。会長 高橋春雄、顧問 竹原富三、相談役 山形常太郎、役員 柴田富三郎、細見金八、山田卯三郎、西与佐、吉田三吾、吉田米作、会員20名。（会場二条寺町かぎ屋ホール）

11月、F E会機関誌「むつみ」発行。編集者 高橋春雄、レポート主任 山島泰三。満洲事変起る。京都市下水工事竣工。フアッシュ団体抬頭、右京、伏見両区新設。

昭和7年（1932）

1月、京理組合三役再留任。

7月、鈴木組合長辞任。今後の組合長には招請を止め、同業組合員中より選出すべしとの強説が抬頭した。これが実行され三度押されて内山岬副組合長が第16代組合長となる。（これ以後は 招請組合長はなく、現高橋理事長まで同業組合員）副組合長 吉田成吉、会計 山田卯三郎。

7月、京都理髪学校設立者を、組合代表組合長内山岬に変更の件認可さる。内山岬組合長は就任早々に病重く現職中に 歿去さる。（過去20年京理組合創立前後より創立委員を